

令和元年度
事業報告書

学校法人 花園学園

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 学校法人花園学園
所在地 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8番地の1
ホームページ <http://www.hanagaku.jp/>

(2) 建学の精神

「禅のこころ」を育てる

花園学園は明治五年に臨済宗妙心寺の山内に宗門の子弟の教育機関として創設された般若林を前身とし、「禅のこころ」を建学の精神とする学園であります。創立以来歴史を積み重ねて、今年で147年を迎え、現在では社会の要望に応え広く門戸を開いて、学生数約1,700名の大学、生徒数約1,200名の中学・高等学校、園児数約200名の幼稚園を擁する学園に成長して参りました。明治以降の日本は、まさに激動の時代でした。幾度の危機を乗り越え、今日を迎えることが出来たのは、その根本において、創立以来、建学の精神を一貫して堅持してきたことによるものであります。

本学園が目的とするのは、単なる知識の獲得のみではなく、あくまでも実践的な「禅」であり、心のふれあいに基づく、一対一の直接的な人格教育です。しかも、手取り足取り知識を教えるのではなく、自ら解決せしめて、自らに知らしめる創造的な教育であり、これが即ち、禅的訓育と宗教的情操の陶冶に他なりません。

花園大学は、建学の精神「禅的仏教精神による人格の陶冶」に基づき、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成する」ため、「花園大学中期ビジョン2021」に掲げる目標に取り組みます。

花園中学・高等学校は、「1. 建学の精神に基づく教育の実践」、「2. 夢を育て高い目標を持つ」、「3. 21世紀型教育の取り組み」、「4. 健全な学校運営」の4目標を掲げて取り組みます。

洛西花園幼稚園は、仏教的環境の中で人間形成の基礎が培われ、情操豊かな園児を育むことを目標として、「1. 基本的な生活習慣の形成」、「2. 教職員の質の向上」、「3. 安全、安心の幼稚園づくり」、「4. 健全な幼稚園運営」を掲げて取り組みます。

(3) 学校法人の沿革

明治5	般若林(三年制)を創立(聯合総鬘設立の為、明治8年に閉鎖)
明治19	大教校を設立
明治27	大教校を廃し普通学林を設立
明治36	花園学林と改称
明治40	花園学院と改称して、中学部・高等部に分ける
明治44	花園学院高等部を臨済宗大学と改称し独立
大正8	花園学院中等部を花園中学と改称
昭和2	組織変更により花園中学校を設立(臨済学院中学部設立の為、昭和13年に廃校)
昭和9	臨済宗大学を臨済学院専門学校と改称 臨済学院中学部を設立
昭和10	設立者を財団法人妙心寺派教学財団に変更
昭和22	京都市委託により、臨済学院中学部に花園中学校附設(昭和24年に廃止)
昭和23	学制改革により臨済学院中学部を花園高等学校に改制
昭和24	花園大学設立 仏教学部仏教学科設置
昭和26	財団法人妙心寺派教学財団を学校法人妙心寺派教学団に組織変更
昭和27	花園高等学校 商業科を新設
昭和39	花園大学 仏教福祉学科設置
昭和41	学校法人妙心寺派教学団から学校法人花園学園に改称 花園大学 文学部設置
昭和43	花園高等学校 自動車科を新設
昭和52	花園大学 総合移転
昭和53	花園高等学校 普通科に特別進学コースを新設
昭和55	花園大学 文学専攻科設置
昭和56	洛西花園幼稚園設置
昭和57	高等学校寄宿舎(雪江寮)閉寮
昭和61	花園大学 国際禅学研究所設置
平成4	花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科設置
平成6	花園大学 大学院文学研究科設置
平成7	花園高等学校 商業科を募集停止
平成10	花園大学 大学院社会福祉学研究科設置 花園高等学校 自動車科を自動車工学科に名称変更
平成12	花園大学 歴史博物館設置 花園大学 大学院文学研究科博士(後期)課程設置 花園大学 社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コース開設

平成14	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科設置 花園大学 文学部仏教学科を国際禅学科に名称変更
平成15	花園高等学校 商業科を廃止 花園中学校設置
平成18	花園高等学校 自動車工学科を募集停止
平成19	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科を臨床心理学科に名称変更 花園大学 臨床心理士養成課程（第1種）指定
平成20	花園大学 文学部文化遺産学科設置 花園大学 文学部創造表現学科設置 花園大学 文学部史学科を日本史学科に名称変更 花園大学 文学部国文学科を日本文学科に名称変更
平成21	花園大学 社会福祉学部児童福祉学科設置
平成22	生涯学習センターを開講
平成24	花園学園創立150周年記念事業準備室設置
平成25	花園大学 文学部国際禅学科を仏教学科に名称変更 花園学園 創立150周年記念事業事務棟（又玄館）設置
平成28	花園大学 文学部創造表現学科を募集停止 文学部文化遺産学科を募集停止 花園中学校 中高一貫スーパーグローバルZENコース新設 中高一貫ディスカバリーコース新設 一貫Sコースを廃止
平成29	花園大学 留学生別科設置

(4) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等
花園大学	昭和24年2月	文学部
		仏教学科
		日本史学科
		日本文学科
		文化遺産学科（募集停止）
		創造表現学科（募集停止）
		社会福祉学部
		社会福祉学科
		臨床心理学科
		児童福祉学科
		文学研究科
		文学研究科専攻修士課程
		文学研究科専攻博士後期課程
		社会福祉学研究科
社会福祉学研究科専攻修士課程		
留学生別科		
花園高等学校	昭和23年4月	全日制（普通科）
花園中学校	平成15年4月	
洛西花園幼稚園	昭和56年4月	

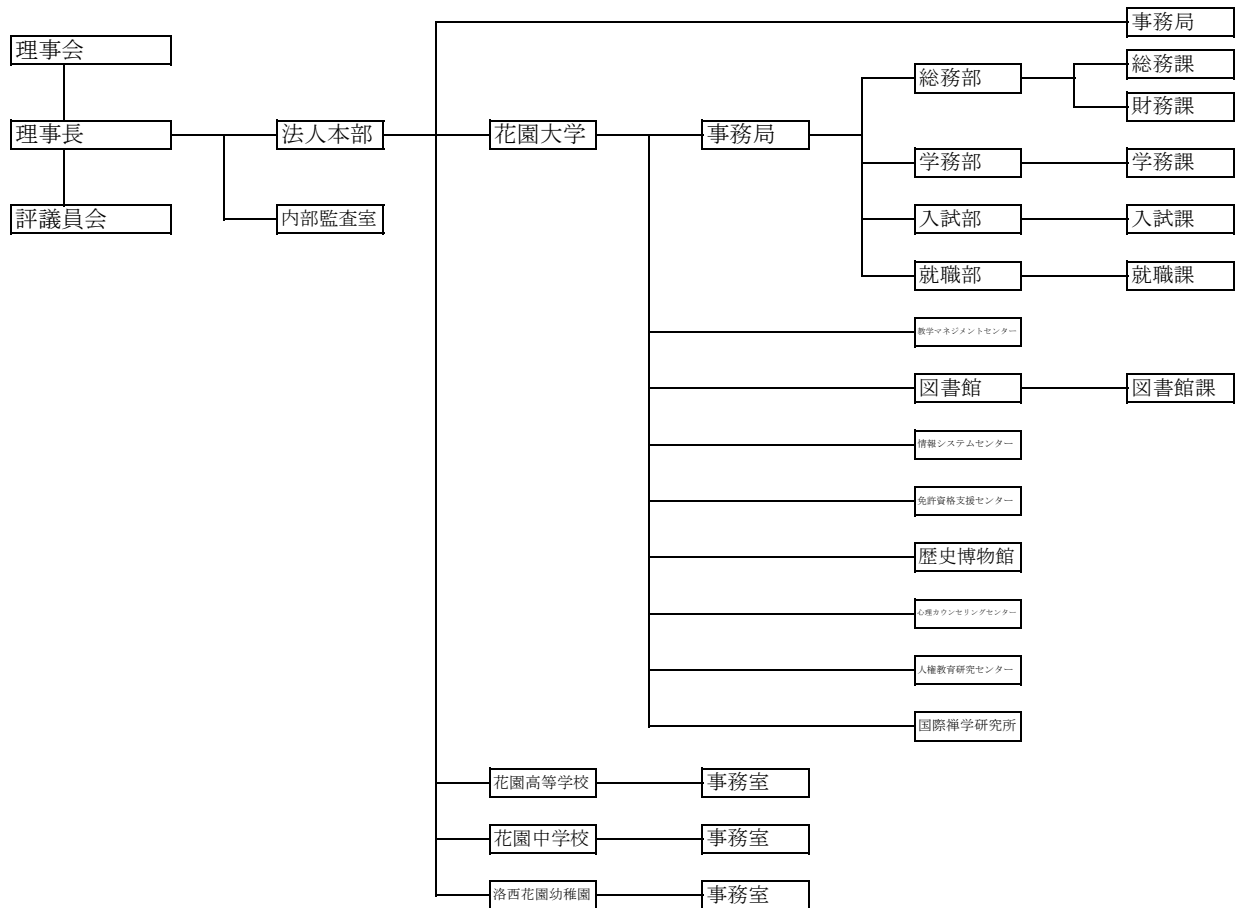
(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(単位：人)

学校名	入学定員	入学者	収容定員	現員	
花園大学	文学部	160	220	655	696
	仏教学科	35	30	200	119
	日本史学科	65	99	245	328
	日本文学科	60	91	210	240
	文化遺産学科（募集停止）	0	0	0	4
	創造表現学科（募集停止）	0	0	0	5
	社会福祉学部	245	283	965	907
	社会福祉学科	80	97	320	274
	臨床心理学科	85	129	325	391
	児童福祉学科	80	57	320	242
	文学研究科	17	12	36	24
	文学研究科専攻修士課程	15	9	30	16
	文学研究科専攻博士後期課程	2	3	6	8
	社会福祉学研究科	10	4	20	7
社会福祉学研究科専攻修士課程	10	4	20	7	
留学生別科	40	5	60	25	
花園高等学校	320	367	960	990	
花園中学校	80	64	240	201	
洛西花園幼稚園	100	64	280	200	
合計	972	1,019	3,216	3,050	

(令和元年5月1日現在)

(6) 事務組織の概要



(令和元年5月1日現在)

(7) 収容定員充足率

(単位：%)

学校名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
花園大学	91.14	91.01	87.99	90.68	95.62
花園高等学校	102.08	102.19	101.56	105.10	103.13
花園中学校	43.75	56.67	69.17	82.92	83.75
洛西花園幼稚園	70.00	68.93	67.50	61.07	71.43

(毎年度5月1日現在)

(8) 役員の概要

理事定員：11名以上13名以内 監事定員：2名
 理事現員：13名 監事現員：2名
 理事長 栗原 正雄
 専務理事 松井 宗益
 常務理事 上沼 雅龍、野口 善敬、堀尾 和良、丹治 光浩、石田 斉、溜 剛
 理事 清水 良正、小山内定代、本間 愛教、鬼頭 孝道、土方 弘道
 監事 若山 昌子、人見 智裕

(令和元年5月1日現在)

(9) 評議員の概要

評議員定員：26名以上31名以内
 評議員現員：31名
 評議員 栗原 正雄、松井 宗益、上沼 雅龍、野口 善敬、堀尾 和良、丹治 光浩、
 石田 斉、溜 剛、清水 良正、小山内定代、澤田 禪、吹田 良忠、
 古山 敬光、佐々木 閑、小海 宏之、松田 隆行、肥田 宏一、和田 寿人、
 中村 広記、中村 幸二、細川 晋輔、白井 大然、佐野 泰典、柴山 昌実、
 榎 俊行、田代 玄英、土方 弘道、本間 愛教、増田 禪岳、千代 眞一、
 津村 恵二

(令和元年5月1日現在)

(10) 教職員の概要

(単位：人)

区分		法人本部	花園大学	花園高等学校	花園中学校	洛西花園幼稚園	計
教員	本務	0	75	79	23	14	191
	兼務	0	213	25	4	9	251
職員	本務	6	54	19	1	1	81
	兼務	0	2	2	6	1	11

(令和元年5月1日現在)

2. 事業の概要

学校法人花園学園 中期ビジョン

花園学園は1792年(明治5年)妙心寺山内に臨済宗各派の宗門子弟の育成機関一般若林一としてその産声を挙げた。師匠から弟子へ受け継がれてきた禅の教えを、仏教の基礎知識と禅の深奥を普遍的に修得することを目的に設立された。

爾後、変遷を遂げ、1948年(昭和23年)には花園高等学校(全日制 普通科)が設置され、1966年(昭和41年)には新制花園大学(文学部一仏教学科、社会福祉学科、史学科、国文学科)が生まれる。「禅的仏教精神による人格の陶冶」を学業とし、宗門子弟だけではなく、広く学生を受け入れ、禅と仏教の知識を身につけ、社会に貢献し一隅を照らす人材を育成すべきとの目的で再構築された。そして、1981年(昭和56年)には洛西花園幼稚園が、1994年(平成6年)には花園大学大学院が設置され、2003年(平成15年)には花園中学校が花園高等学校に併設された。

それぞれの教育機関において、禅を基盤においた教育は知識の修得だけではなく、自ら獲得した価値観で社会に貢献することを目指し、これまでに様々な分野に数多の人材を輩出し、社会の進歩と発展に貢献してきた。

理 念

禅的仏教精神による人格の陶冶

指 針

禅を修得した人材を育成すること

学園の計画方針

今般、花園学園中期計画(2019年度～2021年度)は、本学園の創立150周年(2022年)に臨み、教育目標と、学園運営の発展のため立案するものである。近年のA I (人工知能)の発達で社会が激変する中、これからは、A Iの応用による高度な文明社会や日本の成熟社会において、多くの人々が心豊かに過ごせるかが大きな課題となる。A Iを使いこなし、人が人として生きるための人間力を「自立と自律、おもいやりといきがいの獲得」とするなら、花園学園が長年教育目標としてきた既成概念に陥れない柔軟な発想の陶冶は、まさに普遍的に変わらぬ必要なるものと論議する。種々の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」を原点とし、禅を修得した人材を育成することが初心を忘れざる目的であり、変わらぬ方針である。

禅的人格の養成

坐禅や法話などの実践的な体験を通して、『自らの内にある仏のおしよ』をともしびとして生き、自らの輝きをもって社会を照らし貢献してゆく人材を養成する。

禅・仏教の知識獲得と専門知識の獲得

花園学園が誇る教員陣により、禅・仏教の知識を深め、修学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」を目指す。

また、先端技術を利用した授業や各学科において専門知識を学ぶことで、個人個人の能力を高め、知識の獲得を目指す。

学生・生徒・園児への支援

生活支援(指導)や進学支援、就職支援など、学生・生徒・園児の修学をサポートし、充実した学校生活を送れるよう支援する。

将来を見据えた学園運営

2020年に花園学園は創立150周年を迎える。

これを機に、老朽化している校舎等施設を改修し、最善の教育環境を確保する。又、ガバナンスの強化とチェック体制を強固にすることで健全運営を促す。

(1) 事業の概要

<法人本部>

1. 建学の精神の具現化
2. 創立150周年記念事業計画の進展
3. 組織の充実と改革
4. 地域社会との共存

<花園大学>

『花園大学 Zen to you&you 中期ビジョン2021』の推進

1. 教育力の強化
2. 研究力の強化
3. 学生支援力の強化
4. 就職支援力の強化
5. 経営力の強化

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践
2. 夢を育て高い目標を持つ
3. 21世紀型教育の取り組み
4. 健全な学校運営

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成
2. 教職員の質の向上
3. 安全・安心の幼稚園づくり
4. 健全な幼稚園運営

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

<法人本部>

1. 建学の精神の具現化

中学高等学校ではスーパーグローバルZENコースを中心に、早朝坐禅や華道・茶道を取り入れる一方、英会話教育も展開。留学生の交換も盛んに行っています。大学では海外大学と学術交流協定を締結し学生・教員の交流をおこなうなど、グローバル教育に取り組んでいます。

2. 創立150周年記念事業計画の進展

「記念事業の進捗状況と寄付の報告」の冊子を作成し、11月に大学・高校の卒業生並びに旧教職員に送付しました。また、全国の有縁の方々を訪ね、寄付のお願いを進めています。記念事業の一環であります学園記念誌本編の編纂は概ね校了となりました。

また、記念事業の一環であります施設更新事業は、3月末にて、大学はグラウンドの人工芝工事は終了し、グラウンド校舎の建設中です。中学高校は、仮設校舎への機能移転が終わり1号館の解体工事・3号館の解体工事後の発掘調査を行っています。幼稚園は、遊戯室等の改修工事・保育室の増築工事が終了しました。

3. 組織の充実と改革

学園監事による財務監査を定期的実施した他、業務監査についても実施しました。

法人、大学、中高の事務局長・事務長間の定期的な会議を実施することにより、情報共有を促進し、組織の充実に努めました。

建学の精神であります「禅」の発信として、3年目となる東京サテライト講座を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部講座は中止となりました。

4. 地域社会との共存

例年実施しておりました生涯学習センターは、令和元年度は実施しませんでした。

<花園大学>

中期計画「花園大学 ZEN to you&you 中期ビジョン2021」（2017年）において、「禅的仏教精神による人格の陶冶」を理念に、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成する」ことをミッションとして、「教育力」「研究力」「学生支援力」「就職支援力」「経営力」を強化する方針を掲げています。

毎年度の事業計画においては、中期ビジョンの各方針の実現のための具体的な施策を定めており、本年度における主な進捗・達成状況は以下のとおりです。

1. 教育力の強化

建学の精神に基づき、自己探求心・主体性・グローバル思考を併せ持った人材を育成するため、アクティブ・ラーニングや少人数制授業等学生一人ひとりを大切に丁寧な教育を行うことにより、学生の主体性、積極性、問題解決能力を育成しました。

2. 研究力の強化

研究活動の活性化と外部資金の獲得のため、個人研究費等の研究支援制度を見直し、教員向けの啓発・支援活動を強化しました。

3. 学生支援力の強化

学生への個別相談・支援体制を強化するため、担任制度に基づき各学科の教員が情報を共有し、関連部署とも協力して休退学防止等の取組みを行いました。

4. 就職支援力の強化

学生への個別カウンセリング等の就職支援活動をきめ細かく行うほか、地域の企業・団体との関係を強化した結果、本年度の就職内定率は引き続き高い水準を維持しました。

5. 経営力の強化

働き方改革に対応して週休二日制と教員の専門業務型裁量労働制を導入するなど、勤務管理体制の見直しと労働環境の整備を行いました。

学園創立150周年記念事業として新校舎「楽道館」の建設、グラウンドの人工芝化等のキャンパス整備を実施し、学生の学修・課外活動の環境を整備しました。

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践

外部講師を招いて研修をおこないました。また校外で行われるセミナー等にも積極的に参加しました。また、一貫コースの教育実践報告を塾関係者、他私学の教員を招いて実施しました。

2. 夢を育て高い目標を持つ

中高一貫コースでは、高校部門である4年生がスタートしました。英語での授業（数学・理科）、早朝坐禅、摂心会の実施、茶道の授業の実践。またVR機器を導入しICT教育の充実に努めました。また、高校では、各コースごとに目標を設定し、高校生活の充実を図り、生徒自身がそれぞれ希望する進路を叶えるべく、放課後の補習講座（EX講座）の充実。また、語学研修、ホームステイ等多くの海外研修をおこないました。

3. 21世紀型教育の取り組み

高校の教育改革と並行して、教員の働き方改革の一環としてタイムカードを導入しました。教員一人一人が時代に合った教育の効率化を考え、他の私学にはない、建学の精神に基づいた教育改革を検討しました。また来年度よりのアクティブラーニング型の授業導入に向けて、外部講師を迎えて教職員の技術向上を図りました。また4回のAI型授業研修会を実施しました。校内のWi-Fi環境の整備を行い、iPadに加えChromebookを導入しICT教育の実践を向上させました。

4. 健全な学校運営

塾主催の説明会、私学協会主催の説明会に積極的に参加し、また本校主催の説明会、オープンキャンパス、オープンテスト等も開催日を増やし実施しました。また、創立150周年の記念事業として、仮正門の整備、仮設校舎建設、1号館解体、3号館増築部分の遺跡調査をおこないました。また昨年度に続きブロック塀の補修、ゲリラ豪雨被害の校舎補修工事、2号館空調入替工事等を実施しました。

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成

妙心寺派の和尚様と共に行う仏参や園で行われる仏教行事を取り組むことにより、園児たちの思いやりの心を育てることができました。日々の保育では、各学年に応じた基本的な生活習慣を身に付けた他、遊びのルールや遊具の使い方などを徹底することで怪我やトラブルが減少し安全に過ごすことができました。

2. 教職員の質の向上

4月に花園大学の教授を講師に迎え職員研修を行ったことにより、仕事に対する意欲の向上、職員間でお互いを尊重し合う姿勢を学びました。また、毎日の終礼において配慮を要する園児の情報を共有し、全職員が同じ対応をすることによって園児が安心して過ごせるように努めました。

3. 安全・安心の幼稚園づくり

避難訓練の実施、又地域の警察署の警察官に直接園児たちに指導いただく機会を設け、楽しく交通ルールを学ぶことができました。園内の危険な場所の有無等を教職員で常に巡回し確認、遊具の点検も行いました。

4. 健全な幼稚園運営

今年度も10月に福島県の幼児と保護者を受け入れ、幼稚園留学を行いました。

未就園児対象のバンビの会・リンちゃんクラブの開催を行ったことで、園の評判も広がり入園児の人数が安定しました。また、保育終了後、家庭との連絡を密に取り、健全に園児たちが過ごせる環境づくりができました。

150周年の記念事業として、園舎内外の改修、保育室・給食室の増築を計画し、夏休み期間中に8教室ある保育室のうち2階にある4保育室の天井・壁・床の改修や園舎の外壁塗装、屋根の張替えを行いました。また、預かり保育で使用する保育室増築の工事も3月に完成した。引き続き給食室増築の工事などを行っていく予定です。

3. 財務の概要

(1) 経年比較

① 貸借対照表

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
固定資産	28,456,814	28,132,462	27,844,626	27,757,453	28,358,357
流動資産	3,418,197	3,588,081	3,698,531	3,589,116	3,406,808
資産の部合計	31,875,012	31,720,544	31,543,158	31,346,569	31,765,166
固定負債	1,040,477	986,858	995,744	935,228	1,408,811
流動負債	520,050	515,959	587,016	687,770	718,548
負債の部合計	1,560,528	1,502,818	1,582,761	1,622,999	2,127,359
基本金	28,693,863	28,815,293	29,105,474	29,128,219	29,645,746
繰越収支差額	1,620,620	1,402,432	854,922	595,351	△ 7,939
純資産の部合計	30,314,484	30,217,726	29,960,397	29,723,570	29,637,806
負債の部及び純資産の部合計	31,875,012	31,720,544	31,543,158	31,346,569	31,765,166

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
運用資産余裕比率	3.74年	3.75年	3.82年	3.73年	3.54年
流動比率	657.28	695.42	630.06	521.85	474.12
総負債比率	4.90	4.74	5.02	5.18	6.70
前受金保有率	852.05	623.73	858.77	707.90	706.25
基本金比率	99.15	99.33	99.50	99.62	98.63
積立率	116.08	114.01	110.75	109.11	105.21

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	2,855,751	2,744,517	2,640,404	2,622,404	2,666,010
手数料収入	65,047	62,525	61,584	71,033	75,421
寄付金収入	57,600	74,432	100,141	78,716	363,268
補助金収入	891,056	860,357	867,003	880,094	823,466
資産売却収入	1,131,250	1,915,745	1,515,453	419,215	349,836
付随事業・収益事業収入	5,374	6,653	15,594	21,158	7,658
受取利息・配当金収入	92,836	140,127	153,304	205,611	211,483
雑収入	156,269	175,067	60,548	153,130	122,439
借入金等収入	0	0	0	0	433,320
前受金収入	375,769	366,286	417,642	482,208	453,430
その他の収入	1,430,370	3,084,039	562,889	269,470	330,285
資金収入調整勘定	△ 653,090	△ 572,787	△ 468,716	△ 582,857	△ 656,310
前年度繰越支払資金	6,669,989	3,201,734	3,384,631	3,586,566	3,413,544
収入の部合計	13,086,936	12,058,699	9,310,481	8,206,753	8,593,854

支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費支出	2,364,716	2,430,518	2,275,784	2,434,521	2,457,683
教育研究経費支出	1,019,521	1,017,898	1,067,138	1,107,676	1,097,041
管理経費支出	287,444	277,742	330,147	331,021	339,006
借入金等利息支出	3,574	2,949	2,351	1,820	1,479
借入金等返済支出	65,888	35,888	35,888	35,888	35,888
施設関係支出	174,475	21,015	56,547	67,026	781,430
設備関係支出	80,677	55,766	34,023	84,494	82,778
資産運用支出	5,805,492	4,625,039	1,694,149	681,384	605,385
その他の支出	108,624	233,027	285,570	136,894	198,585
資金支出調整勘定	△ 25,213	△ 25,778	△ 57,685	△ 87,518	△ 207,765
次年度繰越支払資金	3,201,734	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342
支出の部合計	13,086,936	12,058,699	9,310,481	8,206,753	8,593,854

(千円未満は切り捨て)

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,969,902	3,912,837	3,732,176	3,815,319	3,730,020
教育活動資金支出計	3,671,323	3,726,159	3,673,070	3,873,219	3,893,730
差引	298,578	186,677	59,106	△ 57,899	△ 163,710
調整勘定等	△ 87,376	△ 47,278	176,597	23,941	△ 21,670
教育活動資金収支差額	211,202	139,399	235,703	△ 33,958	△ 185,381
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	469,909	411,692	13,100	42,895	378,435
施設整備等活動資金支出計	2,678,938	529,457	270,609	363,397	1,070,149
差引	△ 2,209,029	△ 117,764	△ 257,509	△ 320,502	△ 691,713
調整勘定等	△ 57,355	47,902	6,674	11,593	113,305
施設整備等活動資金収支差額	△ 2,266,384	△ 69,862	△ 250,835	308,908	△ 578,408
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 2,055,182	69,536	△ 15,131	△ 342,866	△ 763,789
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	2,074,503	4,406,850	1,872,287	760,443	1,109,497
その他の活動資金支出計	3,530,174	4,291,311	1,636,972	587,733	540,716
差引	△ 1,455,670	115,539	235,315	172,709	568,780
調整勘定等	42,598	△ 2,178	△ 18,248	△ 2,865	△ 16,722
その他の活動資金収支差額	△ 1,413,072	113,360	217,066	169,844	552,058
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 3,468,255	182,897	201,935	△ 173,022	△ 211,731
前年度繰越支払資金	6,669,989	3,201,734	3,384,631	3,586,566	3,413,544
翌年度繰越支払資金	3,201,734	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342

(千円未満は切り捨て)

ウ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
教育活動資金収支差額比率	5.32	3.56	6.32	△ 0.89	△ 4.79

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

事業活動収入の部	科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	学生生徒等納付金	2,855,751	2,744,517	2,640,404	2,622,404	2,666,010
手数料	65,047	62,525	61,584	71,033	75,421	
寄付金	43,377	66,245	88,256	71,935	61,747	
経常費等補助金	845,131	859,023	867,003	876,660	797,702	
付随事業収入	5,374	6,653	15,594	21,158	7,658	
雑収入	130,827	153,421	41,393	131,083	109,527	
教育活動収入計	3,945,509	3,892,387	3,714,236	3,794,277	3,718,068	
事業活動支出の部	科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	人件費	2,337,988	2,397,256	2,302,292	2,377,033	2,459,751
	教育研究経費	1,406,533	1,411,729	1,457,474	1,483,120	1,478,486
	管理経費	333,060	321,953	375,616	374,842	376,830
	徴収不能額等	464	0	159	219	82
	教育活動支出計	4,078,046	4,130,939	4,135,544	4,235,216	4,315,149
教育活動収支差額	△ 132,536	△ 238,552	△ 421,307	△ 440,938	△ 597,081	

教育活動外収支の部	事業活動収入の部	科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		受取利息・配当金	92,836	140,127	153,304	205,611	211,483
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	92,836	140,127	153,304	205,611	211,483
教育活動外収支の部	事業活動支出の部	科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		借入金等利息	3,574	2,949	2,351	1,820	1,479
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	3,574	2,949	2,351	1,820	1,479
		教育活動外収支差額	89,261	137,178	150,953	203,791	210,004
		経常費収支差額	△ 43,275	△ 101,373	△ 270,354	△ 237,147	△ 387,076
特別収支の部	事業活動収入の部	科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		資産売却差額	38,545	3,490	3,900	465	0
		その他の特別収入	143,437	10,738	13,120	11,262	328,258
		特別収入計	181,983	14,229	17,021	11,728	328,258
特別収支の部	事業活動支出の部	科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		資産処分差額	92,305	9,613	3,995	11,407	26,945
		その他の特別支出	2,158	0	0	0	0
		特別支出計	94,463	9,613	3,995	11,407	26,945
		特別収支差額	87,520	4,615	13,026	320	301,312
		基本金組入前当年度収支差額	44,245	△ 96,757	△ 257,328	△ 236,826	△ 85,763
		基本金組入額合計	△ 214,116	△ 123,645	△ 293,431	△ 180,000	△ 517,527
		当年度収支差額	△ 169,871	△ 220,403	△ 550,759	△ 416,826	△ 603,290
		前年度繰越収支差額	1,790,491	1,620,620	1,402,432	854,922	595,351
		基本金取崩額	0	2,216	3,250	157,255	0
		翌年度繰越収支差額	1,620,620	1,402,432	854,922	595,351	△ 7,939

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業活動収入計	4,220,329	4,046,744	3,884,562	4,011,617	4,257,810
事業活動支出計	4,176,084	4,143,502	4,141,891	4,248,444	4,343,574

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度
事業活動収支差額比率	1.05	△ 2.39	△ 6.62	△ 5.90	△ 2.01
学生生徒等納付金比率	70.72	68.06	68.27	65.56	67.85
人件費比率	57.89	59.45	59.53	59.43	62.60
教育研究経費比率	34.83	35.01	37.68	37.08	37.62
管理経費比率	8.25	7.98	9.71	9.37	9.59

(2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

学費改定及び入学者確保により、平成27年度から減少で推移していた学生生徒等納付金収入や手数料収入は、令和元年度にそれぞれ43,606千円、4,388千円の前年度比増となりました。また、学校法人花園学園創立150周年を3年後に控え、施設更新等のための寄付金募集を平成30年度より開始し、寄付金収入は令和元年度において284,552千円の前年度比増となりました。

花園大学、花園中学高等学校、洛西花園幼稚園それぞれに、施設更新事業がはじまりました関係から、施設関係支出は前年度比大幅増となりました。安定的な経営維持のため、施設更新の原資として第2号基本金を継続して組入れている他、寄付金募集を継続しています。

貸借対照表財務比率で見ますと、運用資産余裕比率は、令和元年度において3.54年であり、引き続き1.00年を上回る数値で、保有資産は安定しています。

事業活動収支計算財務比率で見ますと、教育研究経費比率は平成27年度比2.79ポイント増、前年度比においても0.54ポイント増と、教育に必要となります経費につきまして同水準を維持しています。事業活動収支差額比率におきましては、平成28年度よりマイナスに転じ、平成30年度に△5.90%となりましたが、学生等の確保や寄付金募集などにより、令和元年度は△2.01%と改善しています。

学校法人花園学園中期計画が令和3年度までとなることから、次期中期計画の策定を進め、学校運営、財政面の安定維持を目指してまいります。